

よむまっし

2010年9月15日
第1号

金沢大学教職員組合
医学系四分会
4bunkai@med.kanazawa-u.ac.jp
内線 2496 (外線265-2496)

組合に入りましょう
あなたの加入が職場改善につながります



2010年度金沢大学教職員組合医学系四分会執行委員の選挙が実施され、全員信任されました。投票率は67%でした。

役割分担は下記の通りです。

執行委員長	谷井 秀治		
副執行委員長	澤田 さつき		
書記長	久保 京子		
会計	天野 重豊		
執行委員	池田 良枝	中島 廣志	長沼 理恵



職場の状況や組合に対するご意見等お寄せ下さい。働きがいのある職場づくりに頑張りたいと思います。皆様のご協力をお願いいたします。

組合定期大会を下記のように開催します。
皆様の職場環境を良くしたい。金沢大学を良くしたいという思いが集まり大会は開かれます。身近な要求や、組合へのご意見ご要望をぜひお寄せください。また、大会にご参加ください。



四分会定期大会

10月20日(水) 18:00~20:00
医学系保健学科1号館

本会第67回定期大会

10月22日(金) 18:00~20:00
自然科学5号館 大講義室(2階)
旧理学部



全大教第21回医科系大学教職員懇談会開催のご案内

《開催日》	11月13日(土) 13時~14日(日) 12時30分	
《会場》	群馬大学医学部構内及び伊香保温泉よろこびの宿「しん喜」	
《テーマ》	「安全な医療、安心して働き続けられる大学病院を」(仮題)	
《講演》	「生き生きと働くために 一働きやすい職場環境、より医療の実践から一」	
《講師》	大水 美名子 氏(前慈恵医科大学附属病院 看護部長・副院長)	参加ご希望の方は組合まで

有給休暇を取ると給料が増えます

—— 看護師の皆さんへ ——

看護師の皆さんは「有給休暇は取っても取らなくても給料は変わらない」と思っていますか。もしそうなら、それは大きな思い違いです。みんなが有給休暇の大部分を取るようになれば、取った分あなたの給料は増えるのです。どうしてでしょうか？

病院の各病棟あるいは外来には、必要な人数の看護師が配置されていなくてはなりません。それらを合計すれば、病院全体に必要なマンパワーになります。実際にはそのうちの幾分かは、「取らなかった有給休暇に相当する勤務」によって埋められているのです。つまり病院は取れなかった有給休暇を十分に利用し、一方看護師はその分タダで働いたことになります。この事実は、仮に看護師が有給休暇の大部分を取るようになったら病院のマンパワーが不足し、勤務表を組めなくなってしまう事から分かります。その場合病院はどう対処するのでしょうか。一つの方法は、その分を超過勤務で埋めることです。そうなれば、有給休暇で休んだ分が超過勤務となるので、実際の勤務時間は変わらずに、超過勤務の分給料が増えることになるのです。

日本人は、二宮金次郎の「勤勉は美德」という教えが小さい頃からすり込まれています。この教えを否定はしませんが、しかしこれをそのまま職場に持ち込むことには問題があります。金沢大学附属病院の看護師の有給休暇取得は、平均で年4.9日（2009年）です。仮に有給休暇が年20日とすると、約1/4しか取っていません。残った約15日分は、本来給料をもらえたはずなのに、タダで働いたことになります。ご存知のように、欧米では有給休暇を全部消化するのが基本ですから、早く日本でもそれが常識になって欲しいと思います。ボランティアではありませんから、タダ働きは決して美德ではありません。看護師の皆さんが有給休暇を全部取るよう

になれば、可能性は少ないと思いますが、病院は看護師を新たに雇って増員するという対応を取るかもしれません。その事を考えると、有給休暇を取らない現状は、他の看護師の就職機会を奪っていることにもなっています。

看護師は、特に二交代制が導入されて、不規則な長時間労働で疲労がたまっていることがアンケートからも窺えます。有給休暇はやむを得ない用事が出来たときに取るものと、何となく思っているかもしれませんが、そうではなくて自由に取れるものなんだと意識を変えて下さい。また休まずに働くことは、決して「勤勉は美德」にあたりません。有給休暇を十分に活用し、心身共にリフレッシュしてより良い状態で患者の看護にあたることこそ、プロの看護師の美德だと思います。

A.

「年休」を取らせて！



- ・有給休暇を確実に取りたい。有休を希望しても、その日公休にされてしまう。日深はともかく、準日がつらすぎるので、廃止して欲しい。
- ・年休がほとんど取れない。研修、会議が自分の休み（公休）や時間外が当たり前という風潮がある。出張扱いにならないのは何故？ 労働環境が劣悪です。
- ・準一日廃止にして欲しい。準夜が午前1時に終わり、朝から勤務はつらすぎる。年休は完全消化にしてほしい。祝日のない月に連休が2日しか取れないことが困る。
- ・有給休暇が相変わらず取れないでいる。夏期休暇を6月～10月となっているが、全員6月に取るようになっており、この期間はスタッフ不足を強く感じる。要因不足である。
- ・超過勤務は減り、代休ももらえるようになったが、年休をほとんど取れないので、取れるようにしてほしい。
- ・年休を申し出る雰囲気ではなく、40日中年間1～2日しかもらえない。

昨年10月の全大教アンケートに寄せられた金大職員の声です。有給休暇は原則、労働者がとりたい時とれます。組合ではきちんと有休が取れる労働環境を作るよう要求しています。あなたの組合加入が大きな力になります。あなたの加入をお待ちしています。